

令和2年度 第3回 静言研運営委員会

令和2年12月21日
静言研ホームページ上にて

1 会長あいさつ(寺谷校長)

会員のみなさん、お疲れ様です。よいお年をお迎えください。来年は、どこかのタイミングでお会いして、話をしたいと思っています。よろしくお願いします。

2 県事務局より(大川)

(1) 東海四県事務局会議の報告

12/11 名古屋市立**牧野小での会議は中止**となりました。各県会長が今後を調整中です。

(2) R4年度東海四県静岡大会

東海四県の今後が見えませんが、開催することを予定して、できるところから準備します。

静岡市の校長会では、組織を作って動くことを周知してもらいました。

(3) 来年度に向けての準備についてのお願い

新設・増設の情報、組織など分かり次第、**県事務局にご連絡**ください。

(4) 評議員

各地区から、評議員の方々に、今年度のお礼をお伝えください。

来年度もお引き受けいただけるかどうか確認し、**静岡市立清水三保第二小(清水直子先生)に連絡**してください。

(5) 今後の静言研の在り方(11/4 県事務局と副事務局の先生方との話し合い)

持続可能な静言研を考えていきたい

【変わらないこと】「子どもが必要なときに、身近なところで、適切な質の高い教育を、負担がかからずに自由意思で受けられる教育」の充実を目指す。

(全難言協)

① これまでの静言研、現在の静言研

○研修についても行政への

働きかけについても、あるていど役割は果たせてきていると思う。

○県内各地に力がついてきている。ご当地事情もさまざま。

○発足当時と現在の「世界」「世の中」が違う。

- 会費や補助金の使い方が難しい。
- 担当者の思いに差がある。
- 管理職の理解を得ることが難しい。

↓

組織の作り直し、事業内容の変更や工夫が必要と考える。

② 具体的な提案

- 将来的には、会費でやっていける研究会にしていく。
- 平日に会を開催することは難しくなっていくかもしれない。
 - ・定例研を変えていく。
たとえば R3…3回 R4…2回 R5…1回
内容は著名人の講演会と運営委員会と校長会など。
 - ・各地区の、研修会や体制づくりを充実させていく。
- 補助金は主に、幼児の教材費、地区講習会に使わせていただく。徐々に補助金に頼らない体制にしていく。
- 地区の分け方も静教研と同じにする。
- 幼児担当者の関与がほしい。
- 総会、運営委員会、校長会、評議員会のやり方を考える。
- 調査対策
 - ・県内の状況を把握するためにアンケートは行う。結果の分析までは部でする。
 - ・アンケートの生かし方（要望書を作成するなど）は各地区に任せる。
 - ・県とのつながりはもっていたほうがよいのでは？という会長の意見。
 - ・県への要望書は、なくす、休む、形を変えるなど、検討したい。

※いずれにしても、全難言協、東海四県、県健康福祉部、県福社会、親の会の動向を見たり、相談したりすることが必要になる。

※11/14 副事務局の先生と話し合う。

↓

12/21 運営委員会で話題に出す。

↓

1/29、3月末運営委員会で検討する。

(この時までには、評議員から意見をもらう。)

↓

R3、5月総会で承認を得る。

↓

R3 夏、評議員会で報告し、今後の静言研へのアドバイスをもらう。

以上を読んでいただき、

1/29…次回の運営委員会で各地区の意見を報告してください。

3 各地区事務局より(今年度、紙上発表して下さった先生方の実践についての意見や感想)

各地区でまとめ、次回1/29の運営委員会で報告してください。

(1) 東部地区(佐藤先生)

(2) 中部地区

① 全体(宇治原先生)

② 静岡(西村先生)

③ 志太・榛原(宇治原先生)

④ 小笠・掛川(榛葉先生)

(3) 西部地区(森下先生)

4 各運営部より

(1) 研究部(杉本先生) 以下について、1/29に提案をお願いします。

① R3年度東海四県大会、定例研の割り振り

② 会誌

③ R3 会報

(2) 広報部 (大村)

① 連絡先の確認

今年度の会員必携やHP教室情報にある、教室名、住所、電話番号、メールアドレスなどに間違いがないか各**地区事務局で確認**してください。**1/29までに確認の結果を広報部**にお知らせください。**文書かFAX**でいただくと助かります。

(3) 会計部 (新井) 会員のみなさまに知っておいてほしいこと

① 今年度の会計処理

○R2 会費会計 (浜田小：大石先生)

- ・事務局で執行状況を確認しました。
- ・残金の使い方 (返金は現実無理。物に変える？東海四県に備える？オンライン研修に備えたシステム導入？など考えています。)

○R2 補助金

- ・580万円を使い切る予定。
- ・11/2 現在あった残金 1,035,550円は、県福社会より「オンライン研修に必要なものを購入してもよい。」との指示がありました。県事務局で全県を見渡し、機器などを購入しました。県事務局に保管することにしました。
- ・立て替えについて。

手渡せない分は、来年1月に現金書留で送ることになっています。立て替えている方は、書留が届くことを準備しておいてください。

今年度すでにいただいている補助金から支払えない立て替え分は、会費会計から借りて支払います。

② 会計監査 (2/8) … 予定通り行います。会合通知は12月下旬～1月上旬に送付します。

③ R3年度の予算について

○R3 会費

- ・3,000円集める予定。9月、10月頃より、市町から問い合わせがあり、来年度予算立ての準備が始まっているところがあります。そのため、来年度からの減額は考えられないという理由からです。

○R3 補助金

- ・例年通り、580万円いただけるものとして予算を立てます。
-

④ 講師謝金について

○規定があります。今一度ご確認ください。

(4) 調査対策部(澤野先生) 部長・部員の先生方本当にありがとうございました。

① 要望書を県教委に提出しました。

○ホームページ(会員ページ)にアップした、要望書と回答報告をお読みください。
みなさんからいただいたアンケートの結果です。

○所属長様にもお渡しください。

○教室経営や市町への働きかけなどにお役立てください。

② 今後の調査対策部会

○1月上旬の部会は中止します。メールやFAXなどでのやりとりになります。ご協力ください。

○年度末の状況調査(アンケート)について、検討中です。

準備でき次第、各教室にお願いします。期日を守って提出してください。

5 諸連絡

・静岡県きこえとことばのセンターからのアンケートが届きましたら、ご協力をお願いします。

6 次回第4回運営委員会について

○日時 令和3年1月29日(金)
ホームページ上で行います。

○内容 ・年度末の状況調査(アンケート)について
・教室の新設、増設情報
・組織作り
・第3回運営委員会での懸案事項

○参加者 県事務局、各地区事務局長、各運営部長、本会計担当

- ※ 検討したいことは、できるだけ事前に県事務局にご連絡ください。
- ※ 資料は35部、準備してください。
- ※ 今後の運営委員会の予定
第5回：3月末（新旧の担当者が集まります。）

各地区、各運営部で資料をまとめ、

1月22日(金)までに県事務局に

データ(PDF)で送ってください。

検討したいことは、運営委員の皆さんに分かる

よう、明記してください。

2月5日(金)までを検討期間にしたいと考えて

います。